

# 嘔吐物の処理方法

－感染性胃腸炎（ノロウイルス等）対策－

感染を防ぐためには、

PPE + 消毒 + 手洗い が 重要 です。

## 嘔吐物処理セットの例

- ① 手順書
- ② 次亜塩素酸ナトリウム
- ③ 希釀用容器（ペットボトルやバケツ等）
- ④ バケツ（廃棄物用）
- ⑤ ビニール袋（ゴミ袋）2枚+予備
- ⑥ ペーパータオルや使い捨てタオル等
- ⑦ 不織布マスク
- ⑧ 使い捨てガウン
- ⑨ 使い捨て手袋 5組  
主担当用：2組（重ねて装着）+1組  
補助者用：2組
- ⑩ 使い捨てシーツカバー



※廃棄物容器は汚染度が高いため、使用後は必ず消毒し、他の物品とは別管理が望ましい。

## 消毒液の希釀方法

（次亜塩素酸ナトリウム5～6%の製品を使用する場合）

0.1%

嘔吐物や下痢便で汚染された場所、トイレ等

水1Lに対して、

次亜塩素酸ナトリウム 約 20mL

0.02%

ドアノブ、手すり等の手が触れやすい場所

水1Lに対して、

次亜塩素酸ナトリウム 約 5mL

- ◇ 手指消毒には使用しない。
- ◇ 十分に換気を行い、吸い込まないように注意する。
- ◇ 金属に対する腐食性や、漂白（変色）作用があるため、使用に注意する。
- ◇ 有毒ガスが発生するため、酸性の製品と混ぜて使用しない。
- ◇ 時間が経つと効果が低下するため、作り置きせず、希釀後は速やかに使用する。
- ◇ 原液は冷暗所で保管し、使用期限を守って使用する。

## 次亜塩素酸ナトリウムが使用できない場合（布製品など）

十分に汚物を落としてから 85°C で 1分間以上加熱 する。（煮沸、スチームアイロン等）

やむを得ず、汚物がついた物品を運ぶ時は、汚染を広げない工夫を

ビニール袋に入れる・非発症者の動線と交差しないルートで運ぶ・運搬中に触れた部分を消毒する等

初期対応は、複数人で  
分担しましょう！

# 嘔吐物処理の手順

※一例です

- 1 周囲の人を避難させ、換気を行う。  
  
**換気係**  
**避難誘導係**
- 2 消毒する範囲（嘔吐物★から半径約2m）を決め、立ち入らないよう指示する。  
  
**立入禁止**  
2m  
2m
- 3 必要物品を準備し、消毒液を作る。  
  
**物品用意・消毒液作成係**
- 4 バケツにビニール袋を2重にセットし、以下の個人防護具を着る。  
  
**患者・嘔吐処理係**  
マスク  
ガウン  
袖は手袋の中へ！  
手袋(2重)  
シューズカバー
- 5 嘔吐物をペーパータオル等で覆い、外側から内側に集めるように静かに拭き取り、内側のビニール袋に捨てる。  
  
**内側の手袋を汚染しないよう、中表にして外す**
- 6 拭き取り作業後、外側の手袋を外し、**5**の袋に捨てる。  
  
**内側の手袋を汚染しないよう、中表にして外す**
- 7 **6**の袋の中身に消毒液をかけ、袋を密閉する。  
  
袋の空気は抜かないで！  
外側の袋はこのまま
- 8 **2**で決めた消毒範囲をペーパータオル等で覆い、消毒液をかける。(10分程度置く)  
  
バケツ等に嘔吐した時も、周辺の消毒を忘れずに！
- 9 消毒範囲内に机や椅子の足、壁、備品などがある場合、消毒液で丁寧に拭く。  
  
機  
椅子  
足  
壁  
備品
- 10 手袋・ガウン・シューズカバーを外して外側のビニール袋に捨て、手を洗う。  
  
衣服等を汚染しないよう、中表にして外す
- 11 10分程度経過後、新しい手袋をつけて**8**のペーパータオルを集め**10**の袋に捨てる。  
  
外側の袋に捨てる
- 12 最後に、手袋・マスクを外して**10**の袋に捨て、密閉する。  
  
顔等に触れずにヒモ部分を持って外す  
袋の空気は抜かないで！
- 13 作業後は、石鹼と流水でしっかりと手洗いを行う。  
  
石鹼  
流水  
手洗い
- 14 消毒した場所は、金属部分などを中心に水拭きを行う。  
  
清潔な布で！
- 15 消毒後も最低1時間以上は換気をする。  
  
換気
- 16 ウィルスは、症状回復後も便中に排出され、環境中でもしばらくの間生存するため、嘔吐箇所に限らず、よく触れる場所（ドアノブ等）の消毒も行う。  
  
ドアノブ

夢の共演♪  
手洗い動画  
公開中！